

## 2.4 茨城会場

## 2.4.1 体育活動における頭頸部外傷～脳振盪のマネジメント～

## パネリストによる講演

## 「体育活動における頭頸部外傷～脳振盪のマネジメント～」

大橋 洋輝

東京慈恵会医科大学 脊椎・脊髄センター長  
脳神経外科医

## (略歴)

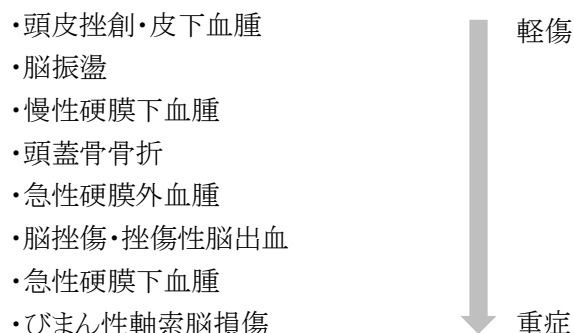
脊椎・脊髄センター長のかたわら、日本サッカー協会の医学委員としてアスリートの頭部外傷等へのサポートを行っている。

## (1) 頭頸部外傷の頻度

スポーツ活動による死亡・重度の障害事故・傷病別割合は、平成15年度から令和4年度までの20年間で、頭部外傷・脊髄損傷が3割を占めている。

## (2) 頭部外傷の種類

頭部外傷には以下のような種類がある。



## (3) 注意すべき急性硬膜下血腫、脳振盪

## ① 脳振盪

- 頭部を強くぶつけるか、揺さぶられると頭蓋骨の中のやわらかい脳にひずみが生じる。
- 脳の機能が一部停止し、様々な症状が出現する。
- 症状として、意識消失、精神活動の障害、平衡感覚障害、様々な自覚症状が生じる。
- これらの症状はほとんど短時間で回復するが、数日から2週間ほど続くこともあり、外見上は大丈夫そうでも放っておくと危険なこともある。
- 急性硬膜下血腫と合わせ起きるかもしれない大けがであり、数日から数週間続くかもしれないこと(脳振盪後症候群)、何年も経過してから繰り返して損傷すること(慢性外傷性脳損傷)などから重要なけがである。

## ②急性硬膜下血腫

打撲によって頭部が激しく揺さぶられることにより、頭蓋骨と脳とに大きなずれを生じることが原因となる。ずれが大きくなり、ある閾値を超えると、頭蓋骨と脳をつなぐ橋渡しの静脈(架橋静脈)が伸展破断し、出血をすることにより血腫が発生する。血腫は硬膜の内側に広がるため「急性硬膜下血腫」となる。

ボクシングや柔道、ラグビーなどのスポーツ等で発生しやすい。外傷性頭蓋内出血は外からはわかりずらく、次のような危険なシグナルがある。

- ・頭痛
- ・吐き気、嘔吐
- ・意識を失う
- ・記憶が飛ぶ
- ・会話や行動がおかしい

## (4)サッカーにおける脳振盪とそのマネジメント

Jリーグにおける脳振盪に対する指針は以下のとおり定められている。

○ピッチ上での対応

○24 時間以内の対応

○復帰へのプログラム:各ステージには最低1日を費やす

図表 脳振盪からの段階的復帰

|       |             |                                            |
|-------|-------------|--------------------------------------------|
| ステージ1 | 活動なし        | 体と認知機能の完全な休息。                              |
| ステージ2 | 軽い有酸素運動     | 最大心拍数70%以下の強度での歩行、水泳、室内サイクリングなど抵抗のないトレーニング |
| ステージ3 | スポーツに関連した運動 | ランニングなどのトレーニング。頭部への衝撃となる活動は控える。            |
| ステージ4 | 接触プレーのない運動  | パス練習などのより複雑な訓練で運動強度を強めていく。                 |
| ステージ5 | 接触プレーを含む練習  | 医学的チェックで問題がなければ通常練習を行う。                    |
| ステージ6 | 競技復帰        | 通常の競技参加。                                   |

## (5)頸部外傷(頸髄・頸椎損傷)

常に頭部外傷と頸髄損傷は同時に起きていると考えることが必要であり、初期には次のステップで対応する。

- 1 呼吸・循環・意識の確認
- 2 知覚・運動機能の確認
- 3 原則的には、無理に仰臥位とせず、そのままの体位を維持
- 4 可能ならばスコープストレッチャーや back-board を使用し全脊椎を固定し搬送する  
(2次損傷の防止)

## (6) 発表資料

1

2024/11/29 JSCセミナー  
「体育・スポーツ活動での事故を防ぐために！」

## 体育活動における頭頸部外傷 ～脳振盪のマネジメント～

東京慈恵会医科大学 脳神経外科  
日本サッカー協会 医学委員

大橋 洋輝

2

### 本日のお話

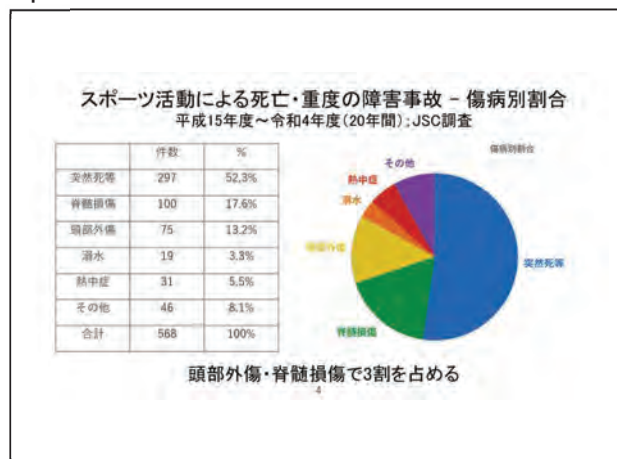
- ◆ 頭頸部外傷の頻度は？
- ◆ 頭部外傷にはどのようなものがあるか？
- ◆ 特に注意すべき急性硬膜下血腫、脳振盪
- ◆ サッカーにおける脳振盪とそのマネジメント
- ◆ 頸部外傷について

3

### 本日のお話

- ◆ 頭頸部外傷の頻度は？
- ◆ 頭部外傷にはどのようなものがあるか？
- ◆ 特に注意すべき急性硬膜下血腫、脳振盪
- ◆ サッカーにおける脳振盪とそのマネジメント
- ◆ 頸部外傷について

4



5

JAPAN SPORT  
OCEANIA

### [学校の管理下における体育活動中の事故の傾向と事故防止に関する調査研究] -体育活動における頭頸部(とうけいぶ)外傷の傾向と事故防止の留意点- 調査研究報告書

平成17年～23年  
頭頸部外傷 4396件  
脳振盪 855件  
急性硬膜下血腫 246件

6

### 競技別・傷病発生件数(平成17～23年度:JSC調査)

| 競技別    | 脳部外傷  | 脳振盪 | 急性硬膜下血腫 | 脳挫傷 | クモ膜下出血 | 硬膜外血腫 | 頸椎損傷 | 頸椎骨折 | その他 | 合計    |
|--------|-------|-----|---------|-----|--------|-------|------|------|-----|-------|
| サッカー   | 297   | 235 | 59      | 32  | 29     | 30    | 18   | 36   | 56  | 441   |
| バスケット  | 135   | 68  | 13      | 5   | 12     | 8     | 27   | 22   | 4   | 234   |
| ハンドボール | 31    | 19  | 3       | 1   | 2      | 1     | 2    | 9    | 5   | 62    |
| ラグビー   | 141   | 138 | 10      | 33  | 15     | 17    | 7    | 86   | 60  | 389   |
| テニス    | 29    | 12  | 5       | 1   | 5      | 3     | 2    | 2    | 0   | 66    |
| バレーボール | 45    | 29  | 5       | 5   | 3      | 3     | 8    | 14   | 2   | 115   |
| 卓球     | 5     | 2   | 1       | 1   | 0      | 1     | 0    | 1    | 0   | 10    |
| バドミントン | 8     | 1   | 2       | 0   | 1      | 0     | 0    | 2    | 0   | 14    |
| ソフトボール | 26    | 22  | 9       | 3   | 7      | 2     | 5    | 2    | 2   | 74    |
| 野球     | 196   | 123 | 132     | 54  | 99     | 86    | 66   | 27   | 32  | 645   |
| 水泳     | 8     | 3   | 2       | 0   | 0      | 0     | 9    | 15   | 3   | 35    |
| 体操     | 21    | 10  | 3       | 4   | 5      | 0     | 1    | 13   | 34  | 61    |
| 陸上競技   | 45    | 26  | 12      | 8   | 6      | 9     | 8    | 15   | 0   | 119   |
| 柔道     | 112   | 79  | 2       | 61  | 10     | 5     | 2    | 82   | 49  | 251   |
| 剣道     | 40    | 49  | 4       | 2   | 2      | 1     | 1    | 9    | 0   | 103   |
| 相撲     | 1     | 4   | 0       | 0   | 1      | 0     | 0    | 7    | 0   | 12    |
| ボクシング  | 1     | 1   | 0       | 11  | 0      | 0     | 1    | 0    | 0   | 13    |
| スキー    | 2     | 2   | 0       | 1   | 3      | 1     | 0    | 1    | 2   | 11    |
| 自転車    | 7     | 4   | 1       | 0   | 2      | 4     | 1    | 1    | 0   | 19    |
| その他    | 89    | 57  | 21      | 24  | 12     | 18    | 11   | 49   | 35  | 236   |
| 合計     | 1,546 | 855 | 285     | 144 | 219    | 188   | 134  | 360  | 81  | 2,782 |

7

## 本日のお話

## ◆ 頭部外傷にはどのようなものがあるか？

- ◆ 頭部外傷にはどのようなものがあるか？
- ◆ 頭部外傷にはどのようなものがあるか？
- ◆ 頭部外傷にはどのようなものがあるか？
- ◆ 頭部外傷にはどのようなものがあるか？



7

8

## 頭部外傷には？

頭皮挫創・皮下血腫

- 脳挫傷
- 硬膜外血腫
- 硬膜下血腫
- 急性硬膜下血腫
- 慢性硬膜下血腫
- 急性硬膜外血腫
- 慢性硬膜外血腫
- 脳挫傷



8

9

## 頭部外傷には？

脳挫傷・脳出血

脳振盪

- 硬膜外血腫
- 硬膜下血腫
- 急性硬膜下血腫
- 慢性硬膜下血腫
- 急性硬膜外血腫
- 慢性硬膜外血腫
- 脳挫傷・脳出血



9

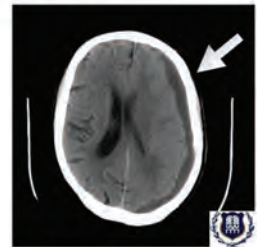
10

## 頭部外傷には？

脳挫傷・脳出血

慢性硬膜下血腫

- 硬膜外血腫
- 硬膜下血腫
- 急性硬膜下血腫
- 慢性硬膜下血腫
- 急性硬膜外血腫
- 慢性硬膜外血腫
- 脳挫傷・脳出血



10

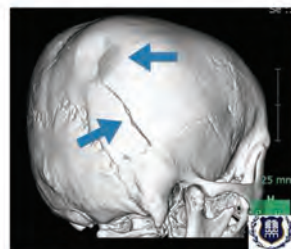
11

## 頭部外傷には？

脳挫傷・脳出血

脳振盪

- 硬膜外血腫
- 硬膜下血腫
- 急性硬膜下血腫
- 慢性硬膜下血腫
- 急性硬膜外血腫
- 慢性硬膜外血腫
- 脳挫傷・脳出血



11

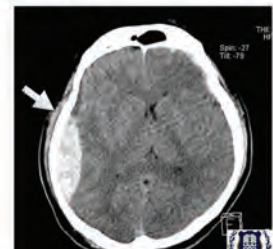
12

## 頭部外傷には？

脳挫傷・脳出血

慢性硬膜下血腫

- 硬膜外血腫
- 硬膜下血腫
- 急性硬膜下血腫
- 慢性硬膜下血腫
- 急性硬膜外血腫
- 慢性硬膜外血腫
- 脳挫傷・脳出血

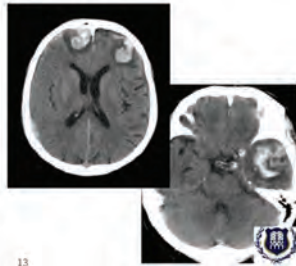


12

13

## 頭部外傷には？

頭部外傷による脳損傷  
 脳挫傷  
 硬膜下血腫  
 硬膜外血腫  
 脳挫傷・挫傷性脳出血  
 急性硬膜下血腫  
 慢性硬膜下血腫



13

14

## 頭部外傷には？

頭部外傷による脳損傷  
 脳挫傷  
 硬膜下血腫  
 硬膜外血腫  
 脳挫傷・挫傷性脳出血  
 急性硬膜下血腫  
 慢性硬膜下血腫

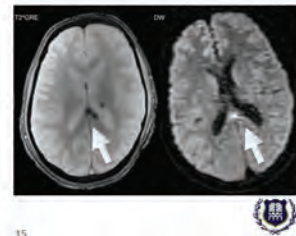


14

15

## 頭部外傷には？

頭部外傷による脳損傷  
 脳挫傷  
 硬膜下血腫  
 硬膜外血腫  
 脳挫傷・挫傷性脳出血  
 急性硬膜下血腫  
 慢性硬膜下血腫  
 びまん性軸索脳損傷



15

16

## 頭部外傷には？

頭皮挫創・皮下血腫  
 脳振盪  
 慢性硬膜下血腫  
 頭蓋骨骨折  
 急性硬膜外血腫  
 脳挫傷・挫傷性脳出血  
 急性硬膜下血腫  
 びまん性軸索脳損傷

軽症  
 ↓  
 重症

16

17

## 本日のお話

- ◆ 特に注意すべき急性硬膜下血腫、脳振盪

17

18

## 脳振盪とは？

第4回スポーツにおける脳振盪に関する国際会議 チューリッヒ 2012

- 頭部・顔面・頸部への直接的打撲もしくは、頭部へ伝播する他の体への衝撃的作用によって生じうる
- 典型的には、自然に回復する短期間の神経機能の障害が急激に起こる
- 脳内に神経病理学的変化を生じている可能性は否定できないが、急性の臨床症状は主に解剖学的障害よりも機能的障害を反映している
- 意識障害を伴う場合や伴わない場合と様々で、典型的には臨床症状は時間とともに軽快するが、一部ではあるが症状が持続して存在する可能性がある
- 一般的な画像検査においては、明らかな異常所見を認めない





19

## 脳振盪とは？

(のうしんとう)



✓脳のカガ！！

✓頭部を強くぶつけるか、揺さぶられると頭蓋骨  
(ずがいこつ)の中のやわらかい脳にひずみが生じる

✓脳の機能が一部停止し、様々な症状が出現する



20

## 頭部打撃のシミュレーション



回転加速度による脳内応力分布

頭に衝撃が加わると、  
脳に変形が・・・



神経が引き伸ばされ、正常な  
神経伝達が行われなくなる



21

## 脳振盪の症状は？

意識消失

(・・・ないこともある)

精神活動の障害

覚えていない

ぼーっとしてしまう

時間、場所、人などがわからなくなる

平衡感覚障害  
ふらつき

様々な自覚症状

頭痛、めまい、耳鳴り

睡眠障害、吐き気、

集中力低下



22

## 症状の経過

✓ほとんどは短時間で回復する

✓しかし一見すると大丈夫そうでも、  
数日から2週間ほど続くこともある

✓外見上は大丈夫そうでも、  
放っておくと危険なことも・・・



23

## 脳振盪はなぜ重要か？

合わせて起きるかもしれない頭の大ケガ

－ 急性硬膜下血腫(きゅうせいこうまくかけっしゅ)

数日から数週間続くかもしれないこと

－ 脳振盪後症候群(のうしんとうごしょうこうぐん)

何年も経ってから

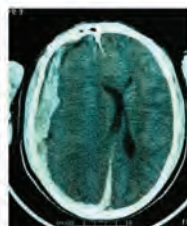
－ 繰り返しの損傷による慢性外傷性脳損傷

(まんせいがいしょうせいのうそんしょう)

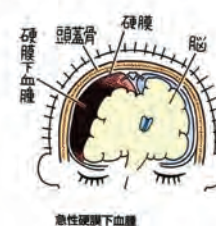


24

## 急性硬膜下血腫とは？



頭部CT



急性硬膜下血腫

手術おこなっても救命できないことがある

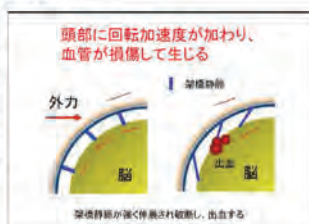


25

## 急性硬膜下血腫

## 加速損傷

打撲によって頭部が激しく揺さぶられることにより、頭蓋骨と脳とに大きなずれを生じることが原因となる。ずれが大きくなり、ある閾値を超えると、頭蓋骨と脳をつなぐ橋渡しの静脈(硬膜静脈)が伸展破断し、出血することにより血腫が発生する。血腫は硬膜の内側に広がるため「急性硬膜下血腫」となる。ボクシングや柔道、ラグビーなどのスポーツ等で発生しやすい。頭部が激しく揺さぶられて打撲をすることによって発生する事が多いが、打撲なしでも起こりうる病態である。



脳振盪も回転加速度が加わるもので受傷機序に近い



26

外傷性頭蓋内出血は  
外からわからない

## 危険なシグナルは？

## 脳振盪



## 急性硬膜下血腫

変だなと思ったら病院へ

- ・頭痛
- ・吐き気、嘔吐
- ・意識を失った
- ・記憶が飛んでいる
- ・会話や行動がおかしい



27

## 脳振盪はなぜ重要か？

合わせて起きるかもしれない頭の大ケガ

－ 急性硬膜下血腫(きゅうせいこうまくかけっしゅ)

数日から数週間続くかもしれないこと

－ 脳振盪後症候群(のうしんとうごしょうこうぐん)

何年も経ってから

－ 繰り返し損傷による慢性外傷性脳損傷

(まんせいがいしょうせいのうそんしょう)



28

## 脳振盪後症候群

- ・脳振盪後、数日から数週間続くもの
- ・頭痛やめまい、耳鳴り、記憶力(きめいりょく)障害、集中力低下、不眠などの症状



学校や仕事に影響が出ることも・・・



29

## 脳振盪はなぜ重要か？

合わせて起きるかもしれない頭の大ケガ

－ 急性硬膜下血腫(きゅうせいこうまくかけっしゅ)

数日から数週間続くかもしれないこと

－ 脳振盪後症候群(のうしんとうごしょうこうぐん)

何年も経ってから

－ 繰り返し損傷による慢性外傷性脳損傷

(まんせいがいしょうせいのうそんしょう)



30

## 慢性外傷性脳損傷

(まんせいがいしょうせいのうそんしょう)

脳振盪のくり返しにより、  
少しずつ神経の線維が破壊され、脳がやせてしまう

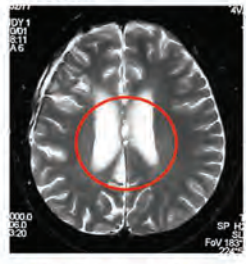


31

## 頭部MRIでの類似性



び慢性軸索脳損傷

脳振盪を繰り返した  
ボクサー

32

繰り返し損傷による  
ダメージの蓄積

33

慢性外傷性脳損傷  
パンチドランカー

- 認知症・・・もの忘れ
- 錐体路・錐体外路症状・・・ガクガク、ロボットのような動き
- パーキンソン様症状・・・ふるえが止まらない
- 小脳失調・・・ふらつき
- 易怒性、多幸症・・・怒りっぽくなる

ボクシングやアメリカフットボールの元選手に  
見られることがある

34

診断は難しいが  
しっかり脳振盪の疑いがあると  
判断することが大事

35

## スポーツにおける脳振盪に関する国際会議



36

## 2022 アムステルダム声明

CISG ABOUT MEMBERSHIP TERMS PROCEEDINGS EXPERTS &amp; SPONSORS

Since 2002 the Concussion in Sport Group (CISG) has worked to analyse, aggregate, and interpret the world's scientific literature for the evaluation, management, and prevention of sports-related concussion.





37



**CISC Tools**

The New Generation Of Sport Concussion Tools

**脳振盪認識ツール CRT6 一般向け**

**急性期(72時間まで最長7日)**

**スポーツ脳振盪評価ツール SCAT6 13歳以上**

**小児スポーツ脳振盪評価ツール Child SCAT6 8~12歳**

**亜急性期(3~30日)**

**スポーツ脳振盪評価ツール SCOT6 13歳以上**

**小児スポーツ脳振盪評価ツール Child SCOT6 8~12歳**

38



**CISC HP**

**Sport Concussion Assessment Tool (SCAT6®)**

SCAT6 is a standardized tool for the assessment of sport concussion that has been designed and validated by a panel of experts. It is a comprehensive tool that includes a range of tests and questions to help assess the severity of a concussion and to monitor recovery. It is designed to be used by healthcare professionals and is available in both English and Japanese.

**SCAT6 Introduction**

**SCAT6 Instructions**

39



**SCAT6™**

Sport Concussion Assessment Tool

For Healthcare Professionals

40



**スポーツ脳振盪評価ツール第5版**

**The sport Concussion Assessment Tool(SCAT)**

医療従事者向け

ダウンロード可能

41

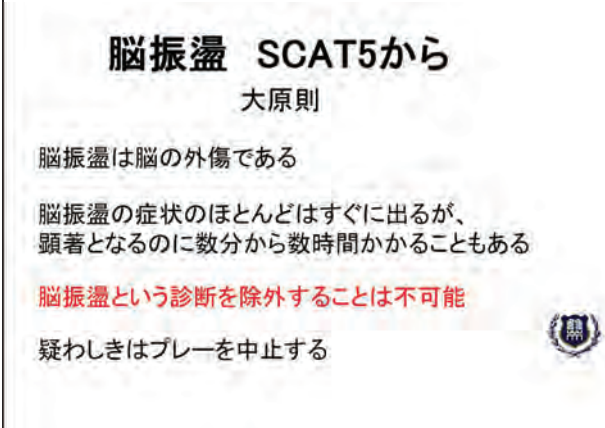


**SCAT5. SPORT CONCUSSION ASSESSMENT TOOL - 5TH EDITION**

SCAT5はそれ単独で脳振盪を診断するツールではなく、他の診断方法と合わせて総合的に評価することが必要

また、徴候や症状は時間とともに増悪したり、新たに出現したりすることがあるため、脳振盪の急性期には繰り返し評価することが重要

42



**脳振盪 SCAT5から**

**大原則**

脳振盪は脳の外傷である

脳振盪の症状のほとんどはすぐに出るが、顕著となるのに数分から数時間かかることもある

**脳振盪という診断を除外することは不可能**

疑わしきはプレーを中止する

43

## 脳振盪と判断できなくても

頭部への衝撃が加わった場面がある選手は、プレーを継続させたとしても**遅れて症状がでる可能性**がある

プレー再開後も目を離さない

状態がおかしければ速やかにプレーの中止を躊躇しない

ピッチ外の評価はSCAT5へ。少なくとも48時間まで繰り返し評価



44

## Pocket SCAT2

簡易版



バランステストはピッチ内では危ないのでやらない方向に

日本臨床スポーツ医学会HPからダウンロード可能



45

## Concussion Recognition Tool 5; CRT5

一般の方向け

ダウンロード可能



46

## 脳振盪として即座にプレーを中止すべき症候

1. 意識消失、もしくは疑い
2. 痙攣(けいれん)、強直姿勢
3. 意識の変容(ぼーっとする、混乱している、易怒性(いどせい)、いつもと行動が変化している)
4. 見当識障害(時、人、場所を特定できない)
5. ふらつき、バランス障害、失調
6. 嘔吐(おうと)

「い、け、い、け、ふらついて、吐いた」



47

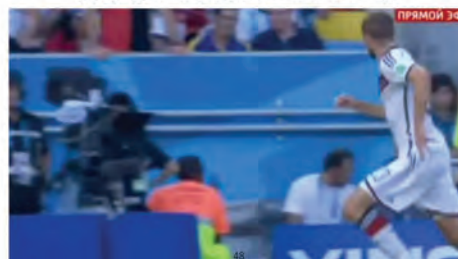
## 本日のお話

- ◆ サッカーにおける脳振盪とそのマネジメント



48

## FIFAワールドカップ2014 決勝戦ドイツ対アルゼンチン戦



49

**J.LEAGUE** 2016-19

|      | 全傷害  | 脳振盪 | 頻度 (%) |
|------|------|-----|--------|
| 2016 | 562  | 19  | 3.4    |
| 2017 | 672  | 20  | 3.0    |
| 2018 | 586  | 13  | 2.2    |
| 2019 | 705  | 28  | 4.0    |
| 計    | 2525 | 80  | 3.2    |

50

**Jリーグにおける脳振盪に対する指針**

① ピッチ上での対応

- 呼吸・循環のチェック
- 意識状態の確認後、担架などでタッチラインへ移動  
この際、**頸部の安静**には十分注意
- ポケットSCATなどを用いて、脳振盪か否かを判断
- 脳振盪が疑わしければ、**試合・練習から退くべき**  
短時間のうちに回復したとしても、**試合復帰は避けるべき**

Jリーグ、日本代表戦では**3分間ルール**  
試合を止めて脳振盪か判断する時間  
2016年シーズンから開始



51

**Jリーグでの脳振盪に対する交代の指針**

2024年6月25日Jリーグ理事会は、国際サッカー評議会(IFAB)の勧告を受け、「脳振盪交代ルール」の変更を行った。

＜原則＞ 2024/25サッカー競技規則改定のタイミングに合わせて8月3日以降導入

- 1試合において、各チーム最大1人の「脳振盪による交代」を使用することができる・相手チームが「脳振盪による交代」を使用した場合は、自チームは追加で1名を交代させることができる(この場合の交代理由は脳振盪であるか否かを問わない)
- 「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代が行われているにかかわらず、行うことができる



52

**Jリーグにおける脳振盪に対する指針**

② 24時間以内の対応

- 休息をとる  
この間はチームドクターやATが頻回に選手の状態をチェック  
SCAT5などのツールを用いて、脳振盪の状態を客観的に評価
- 受傷時に意識消失や健忘があった場合には、たとえ意識が正常に回復しても**病院に搬送することが望ましい**
- 頭痛、吐き気、嘔吐などが新たに出現したり、改善しない、あるいは悪化する場合には**専門施設へ搬送する**
- 経過良好の時は帰宅を許可するが、**24時間以内は単独での生活を避け**、頭痛、吐き気などが生じた場合には**即座に病院を受診する**ように指導



53

**Jリーグにおける脳振盪に対する指針**

③ 復帰へのプログラム

| ステージ  | 脳振盪からの段階的復帰                                            |
|-------|--------------------------------------------------------|
| ステージ1 | 運動なし<br>・体と認知機能の完全な休息。                                 |
| ステージ2 | 軽い有酸素運動<br>・最大の拍数70%以下の強度での歩行、本場、室内サイクリングなど筋力のないトレーニング |
| ステージ3 | スポーツに関連した運動<br>・ランニングなどのトレーニング、脚部への巻等となる活動は避ける。        |
| ステージ4 | 接触プレーのない運動<br>・パス練習などのより複雑な訓練や運動強度を上げていく。              |
| ステージ5 | 接触プレーを含む練習<br>・医学的チェックで問題がなければ通常練習を行う。                 |
| ステージ6 | 競技復帰<br>・通常の競技参加。                                      |

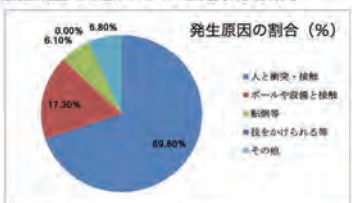
- 各ステージには**最低1日**を費やす
- 各ステージにおいて、脳振盪の症状が出た場合には、**24時間の休息**をとり、**症状が出ていなかったステージから再開**



54

**サッカーにおける脳振盪の典型的な場面**  
(学校管理下)

**脳振盪を起こした直接的原因**



発生原因の割合 (%)

- 人と衝突・接触
- ボールや設備と接触
- 転倒等
- 足をかけられる等
- その他

**脳振盪を起こす局面**

基本的にトップレベルと変わらないが、ボールや設備と接触などはやや多い印象  
練習中の至近距離からのボールの打撃など環境や技術的なもの

技術不足によるもの

- ボールに乗り上げて転倒
- キーパー練習中の顔面打撲






55

部活中「頭」は気をつけて

死亡事故 10年で25件発生

脳振盪を予防する

中学2年生男子生徒

- サッカー部合宿中のキーパー練習
- コーチの蹴ったボールがグローブをかすめて顔面に当たる
- 練習後頭痛を感じたが合宿を継続
- したところ翌々日の練習試合で
- 頭痛がひどく意識しないようなミスで失点
- 試合途中で交代し早退したが自力で帰れず母を呼び病院受診

急性硬膜下血腫の診断：早い短期入院

コンタクトスポーツ中止の宣告

学校は合宿参加者に聞き取り調査

- 大怪我に繋がるとは誰も思っていなかった
- コーチは強めにボールを蹴っており、「生徒の力を踏まえ、未熟だった」と
- 顧問の結論は「真実」に気付かなかったことに
- じくになる思いがある
- 学校は両親と生徒に謝罪

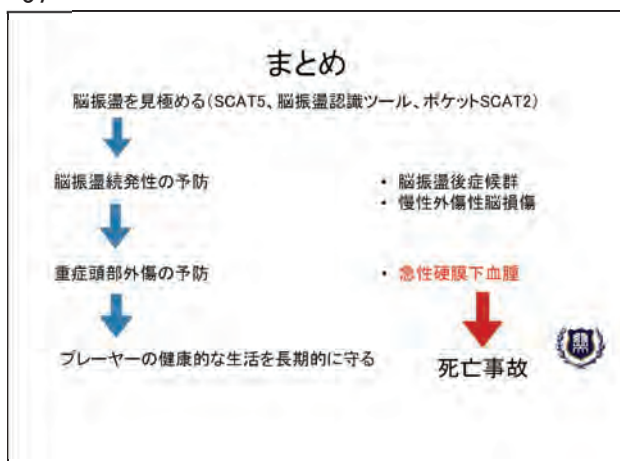
生徒は最後の夏の大会をマネージャーとして参加

「レギュラー争いをしていて休みたいくらい」と思い練習を続けて悪化させてしまったかもしれない

56



57



58

本日のお話

- 脳振盪の見極め
- 脳振盪続発性の予防
- 重症頭部外傷の予防
- プレーヤーの健康的な生活を長期的に守る

◆ 頸部外傷について

59

頸部外傷

- 軽症
  - 皮膚の擦過傷、切創、挫創
- 中等症
  - 筋の損傷
- 重症
  - 血管、気管・声帯などの損傷
  - 神経根、腕神経叢損傷
- 創重症
  - 神経根の引き抜き損傷
  - 頸髄損傷
  - 意識障害を伴う頭部外傷の合併

60

競技別・傷病発生件数(平成17～23年度、JSC調査)

| 競技別    | 脳振盪   | 脳挫傷 | 脳出血 | 硬膜下血腫 | 硬膜外血腫 | 急性硬膜下血腫 | 慢性硬膜下血腫 | その他   | 合計  |     |     |       |
|--------|-------|-----|-----|-------|-------|---------|---------|-------|-----|-----|-----|-------|
| サッカー   | 297   | 235 | 56  | 32    | 29    | 30      | 18      | 36    | 55  | 2   | 44  | 837   |
| バスケット  | 135   | 68  | 13  | 5     | 12    | 8       | 8       | 27    | 22  | 4   | 32  | 354   |
| ハンドボール | 31    | 15  | 3   | 1     | 2     | 1       | 2       | 9     | 5   | 0   | 15  | 88    |
| ラグビー   | 141   | 118 | 10  | 33    | 15    | 17      | 7       | 84    | 40  | 109 | 50  | 517   |
| テニス    | 28    | 12  | 5   | 1     | 9     | 3       | 4       | 2     | 2   | 0   | 9   | 78    |
| バレーボール | 45    | 29  | 6   | 5     | 3     | 3       | 3       | 8     | 14  | 2   | 16  | 133   |
| 卓球     | 5     | 2   | 1   | 1     | 0     | 1       | 0       | 1     | 1   | 0   | 2   | 28    |
| バドミントン | 8     | 1   | 2   | 0     | 1     | 0       | 0       | 0     | 2   | 0   | 2   | 16    |
| ソフトテニス | 26    | 22  | 8   | 3     | 5     | 2       | 2       | 8     | 2   | 2   | 17  | 93    |
| 野球     | 156   | 123 | 132 | 54    | 59    | 86      | 66      | 27    | 32  | 3   | 14  | 962   |
| 水泳     | 8     | 3   | 2   | 0     | 0     | 0       | 0       | 1     | 1   | 0   | 2   | 38    |
| 体操     | 21    | 10  | 3   | 4     | 3     | 0       | 1       | 19    | 24  | 8   | 31  | 154   |
| 陸上競技   | 69    | 26  | 12  | 8     | 8     | 9       | 36      | 8     | 15  | 0   | 18  | 158   |
| 柔道     | 112   | 79  | 2   | 61    | 10    | 5       | 2       | 62    | 49  | 7   | 43  | 445   |
| 剣道     | 88    | 29  | 4   | 8     | 5     | 1       | 1       | 8     | 9   | 0   | 19  | 108   |
| 相撲     | 1     | 4   | 0   | 0     | 1     | 0       | 0       | 7     | 0   | 0   | 2   | 15    |
| ボクシング  | 1     | 1   | 0   | 11    | 9     | 0       | 1       | 0     | 0   | 0   | 0   | 18    |
| スキー    | 1     | 2   | 0   | 1     | 3     | 1       | 0       | 1     | 1   | 2   | 1   | 15    |
| 自転車    | 7     | 4   | 1   | 0     | 1     | 3       | 1       | 1     | 1   | 0   | 9   | 19    |
| その他    | 88    | 57  | 21  | 24    | 12    | 18      | 11      | 49    | 35  | 13  | 36  | 363   |
| 合計     | 1,240 | 855 | 285 | 246   | 270   | 188     | 114     | 1,007 | 607 | 87  | 421 | 4,398 |



61

## 頸髄・頸椎損傷が発生する状況

- ・ アメリカン・フットボールやラグビーのタックル
- ・ ラグビーのスクラムの崩壊
- ・ 柔道の投げ
- ・ 野球の頭からのスライディング
- ・ 乗馬障害飛び越えでの落馬
- ・ 体操競技での鉄棒や跳馬の着地
- ・ 水泳の飛び込み
- ・ スキー、スノーボードの転倒



62

## 受傷機序による分類

**過伸屈損傷:**コンタクトスポーツで転倒や衝突の際に、頸部が急激に過伸屈されて起こる。前頭部、顔面、下顎などを直接打撲した場合が多い。

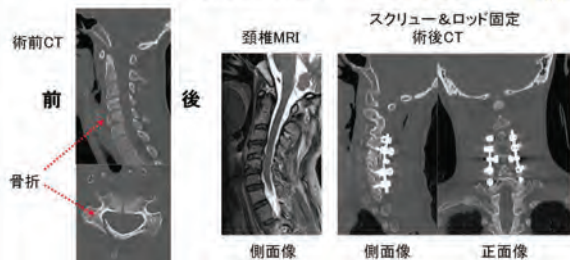
**過屈曲損傷:**水泳の飛び込み、ラグビーのスクラムなど頭部への垂直方向の外力により、頸部が屈曲した場合にみられる。椎体のくさび形の骨折をおこし、外力が強いときには椎体がずれ(脱臼)、脊髄が損傷する。頸部痛のみならず、四肢のしびれや疼痛などの感覚障害、運動麻痺など障害レベルに応じた症状が出現する。現場では頸椎を愛護的に取り扱いながら、無理に動かさずただちに救急搬送しなければならない。

**側屈損傷:**肩から上肢にかけて放散する鋭い灼熱痛を呈する外傷性神経根症である。バーナー症候群に代表されるものであり、ラグビーのタックルなどに多く、頸部が側屈され、神経根が損傷されて起こる。一過性あるいは恒久的性の神経障害(知覚障害・運動障害)を生じる。



63

## 頸椎・頸髄損傷(転落外傷)



64

## 頸髄損傷として扱う状況

- ・ 四肢麻痺、対麻痺
- ・ 意識清明に関わらず、上肢などに麻痺がある
- ・ 呼吸停止あるいは腹式呼吸
- ・ 頸部の痛みと不自然な首の位置



65

## 初期対応

常に頭部外傷と頸髄損傷は同時に起きていると考える

1. 呼吸・循環・意識の確認
2. 知覚・運動機能の確認
3. 原則的には、無理に仰臥位とせず、そのままの体位を維持
4. 可能ならばスクープストレッチャーや back-board を使用し全脊椎を固定し搬送する(2次損傷の防止)



66

## 頭頸部外傷への対応



## 2.4.2 安全教育全般・運動部活動・水泳等の視点

## パネリストによる講演

## 「安全教育全般・運動部活動・水泳等の視点」

佐藤 豊

桐蔭横浜大学教授  
スポーツ教育、部活動等

## (略歴)

国の教育課程の基準作成に関わり、大学授業、教員養成再課程認定に係る「実践的指導力」育成に向けたカリキュラムの構築、教育委員会、近隣小中高との連携による模擬授業の実践。

## (1) Well-Being の再認識

健康とは、単に疾病がない状態ということではなく、肉体的、精神的、そして社会的に、完全に満たされた状態にある。(世界保健機関 WHO 憲章 1946)

○「PERMA」ポジティブ心理学. Martin E. P. Seligman

Positive Emotion (ポジティブな感情)

Engagement (何かへの没頭)

Relationship (人との良い関係)

Meaning and Purpose (人生の意義や目的)

Achievement/ Accomplish (達成)

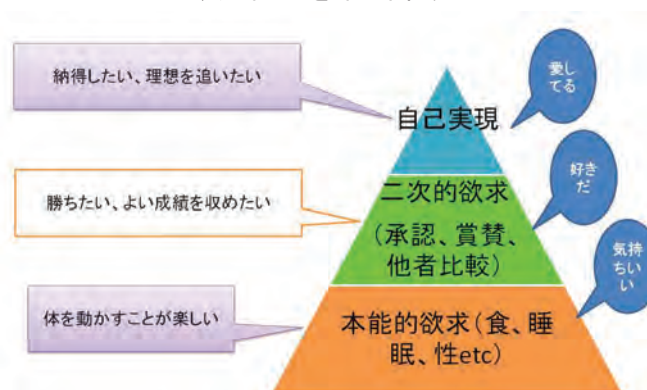


部活動の在り方の再考  
を通して、教師自身も  
考えてみませんか？

## (2) スポーツの価値

- ・スポーツは文化としての身体活動を意味する広い概念である。
- ・スポーツを通じて「地域社会の再生」「健康で活力に満ちた長寿社会の実現」「国民経済の発展」「国際相互理解」等を進め、社会の活性化・課題の解決に寄与することができる。(外材的価値)
- ・スポーツの楽しさを深く味わうためには、体を動かすことが楽しい本能的欲求から勝ちたい、良い成績を収めたいという二次的欲求、さらに納得したい、理想を追いいたいという自己実現に進むことが求められる。(内在的価値) 特に、内在的価値を高めるアプローチを大切にしたい。

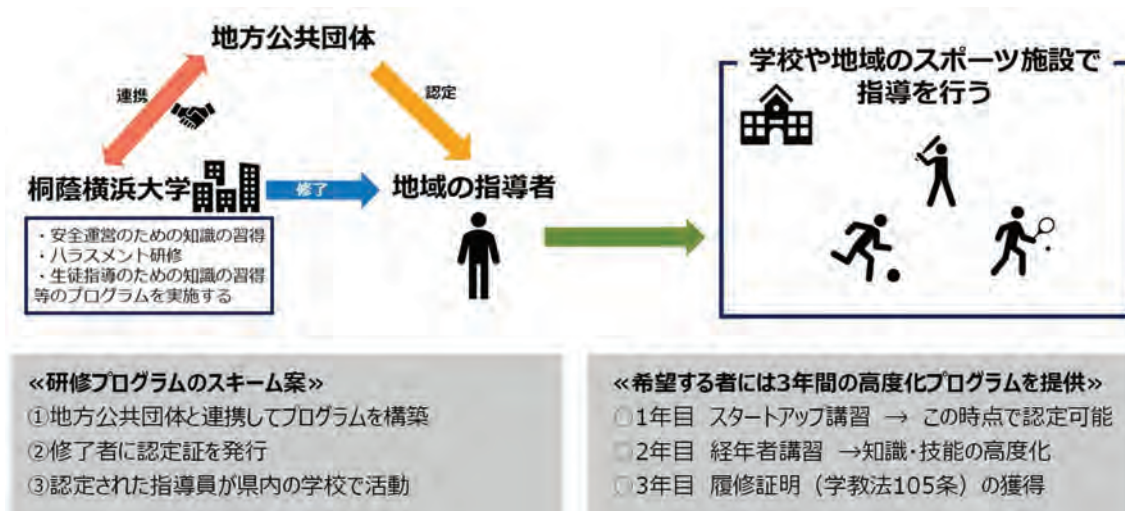
図表 楽しさを深く味わうために



## (3) 地域の部活動指導員の質向上に向けた研修

教員やスポーツ指導者を多数輩出してきた実績に基づき、専門的見地から地域の部活動指導員の質向上に向けた研修プログラムを構築し実施した。

図表 研修プログラムのイメージ



## (4) 水泳の安全指導

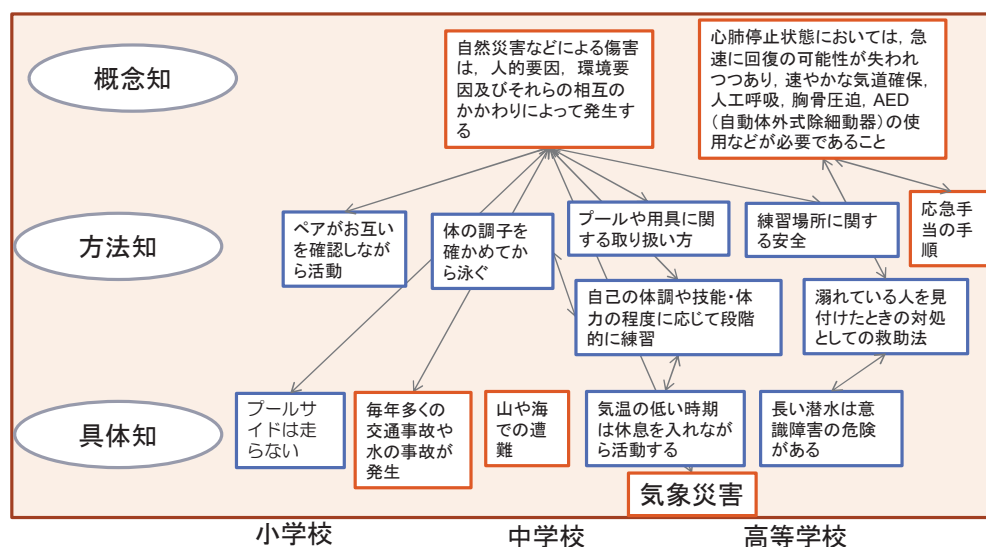
## ① 事故の現状

平成17年度～27年度に、授業や部活動などの飛び込みで障害が残った事故は、少なくとも32件起きており、そのほとんどがスタート時に逆さまに深く入水し、水底に頭部を打ち付けて起こっている。(JSC) また、無理な息こらえによる事故(潜水事故)も生じている。

授業における事故防止を図ることは、言うまでもないが、一方で日本では必修とされ、多くの学校でプールが設置されていることを踏まえ、施設の有効活用と授業の積極的な取り組みが期待される。

## ② 学校管理下(体育活動中)における水泳事故(溺水)を防ぐために

体育・保健体育では、体育と保健領域の確実な学習と関連を図る指導の充実を行う。また、これらを体育的行事等に生かしていくことで、縦のカリキュラムマネジメント、横のカリキュラムマネジメントの両面から、指導を充実し、夏季休業中や卒業後の野外における水難事故防止につなげたい。





## (5) 発表資料

1

令和6年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事故防止対策推進事業  
「体育・スポーツ活動での事故を防ぐために！」

### 「安全教育全般・運動部活動・水泳等」の視点



**スポーツ事故対応ハンドブック**  
フローチャート版

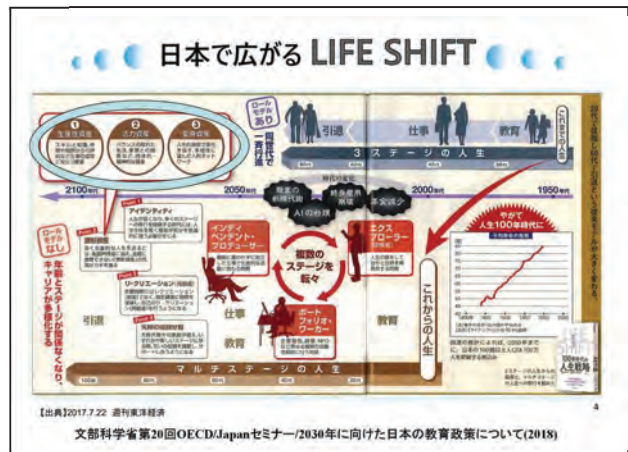
**なくそう！運動部活動の事故**

学校教育の視点から  
健康の保持増進、生涯スポーツの実践者の育成を  
目指して

順徳横浜大学 スポーツ科学部  
スポーツ教育学科 教授 佐藤 豊

九州体育・保健体育ネットワーク研究会  
<http://kyushu-net-b45.coreserver.jp/>

2



3

### 「学校でのスポーツ事故を防ぐために」

戸田委員長 基本的にとらえておきたい事項  
現在→未来へ **守ること** **育てること**

学校教育の視点から  
健康の保持増進、生涯スポーツの実践者の育成を  
目指して

**事故防止**

豊かなスポーツライフ  
生きがいのある人生

学校責任下→学校外への応用  
**汎用性の視点での育成**

4

### 今、起きている様々な安全への懸念

今夏の台風、過去最悪 被害と展望、【東京気象】一連の台風  
多発記録・気象庁

今夏の台風、過去最悪 被害と展望、【東京気象】一連の台風  
多発記録・気象庁

【取材】年々プールで6.4男児死に、事故原因も3人原因が分 ぞ  
れでも進行された水泳指導

国産新聞

順徳横浜大学 佐藤 豊

5

<https://www.poolkansi.com/rekisi-jiko2024.html>  
プール事故データ(個人収集サイト)

<2024年(令和6年) プール事故事例の概観> (2024年10月09日更新)

| 発生日時                | 発生場所         | プールの特徴及び状況                               | 監視体制 | 監視担当者 | 事故概要                                                                           |
|---------------------|--------------|------------------------------------------|------|-------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 2024年8月29日午後9時半ごろ   | 北海道札幌市の市民プール | 水深は95センチの一般用プール<br>小学6年生の2クラス39人が授業していた。 | 不備   | 監視担当者 | 父親が3歳児がいないことに気づかず、すぐにプールの入水監視付近に沈んでいるのを発見して引き上げられましたが、父親が3歳児を沈めたところ監視を取り戻しました。 |
| 2024年8月24日午後4時10分ごろ | 茨城県の市立プール    | 水深110cmの浅いプール                            | 不備   | 監視担当者 | 父親が3歳児がいないことに気づかず、すぐにプールの入水監視付近に沈んでいるのを発見して引き上げられましたが、父親が3歳児を沈めたところ監視を取り戻しました。 |

25メートルを完泳する練習中に溺れ、並んで泳いでいた児童が溺れた児童がプールから上がってこないことに気づき指導員に伝えた。

児童はゴール付近で沈んでいるのを発見され呼吸が止まった状態で発見された。

事故発生後AEDなどによる応急処置が行われ、救急隊は到着したものの意識が戻らなかったと報告されました。

6

### Well-Being(ウェル・ビーイング)

#### ・古くて新しい？

世界保健機関 (WHO) 憲章 1946

Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.

「健康とは、単に疾病がない状態ということではなく、肉体的、精神的、そして社会的に、完全に満たされた状態にある」

訳)幸福、健康、福祉

7

## SDGs (Sustainable Development Goals)

## Well-Beingの再認識

持続可能な開発目標(SDGs)とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。(国連ホームページ)

## 価値観の変化・ダイバーシティ(多様性、共生)

## 新型コロナ 働き方改革 健康経営概念

「PERMA」ポジティブ心理学  
マーティン・セリグマン(Martin E. P. Seligman)

Positive Emotion (ポジティブな感情)  
Engagement (何かへの没頭)  
Relationship (人との良い関係)  
Meaning and Purpose (人生の意義や目的)  
Achievement/ Accomplish (達成)

部活動の  
在り方の  
再考を通  
して、教師  
自身も考  
えてみま  
せんか?

8

## 2023 日本の国際比較

図表3 各潜在変数の日本の順位と上位10カ国

| 日本<br>順位 | 産業・<br>新機代 | グローバル化  | 知識資本   | 法・制度・<br>規制 | 人的資本   | デジタル化  | 知識資本   | 脱炭素     |
|----------|------------|---------|--------|-------------|--------|--------|--------|---------|
| 54位      | 49位        | 56位     | 40位    | 40位         | 61位    | 3位     | 7位     |         |
| 1位       | ベルギー       | ルクセンブルク | アイスランド | スイス         | デンマーク  | 中国     | アイスランド |         |
| 2位       | オランダ       | アイスランド  | 台湾     | デンマーク       | シンガポール | 台湾     | デンマーク  |         |
| 3位       | 台湾         | オランダ    | デンマーク  | アイスランド      | デンマーク  | アイスランド | 日本     | フィンランド  |
| 4位       | デンマーク      | フィンランド  | 香港     | フィンランド      | ベルギー   | スウェーデン | ドイツ    | スウェーデン  |
| 5位       | スウェーデン     | デンマーク   | スイス    | オランダ        | アイスランド | ベルギー   | 韓国     | スイス     |
| 6位       | フィンランド     | シンガポール  | ベルギー   | スウェーデン      | カナダ    | オランダ   | 韓国     | ノルウェー   |
| 7位       | シンガポール     | スイス     | アイスランド | ベルギー        | フィンランド | 韓国     | フランス   | 日本      |
| 8位       | アイスランド     | スウェーデン  | オランダ   | シンガポール      | ノルウェー  | カタル    | インド    | アイスランド  |
| 9位       | カナダ        | エストニア   | フィンランド | カタル         | アイスランド | イスラエル  | イタリア   | オーストラリア |
| 10位      | 韓国         | ベルギー    | スウェーデン | ルクセンブルク     | 韓国     | フィンランド | 台湾     | ベルギー    |

注1: 順位は、潜在変数5つのうち5個以上でトップ10に入った国。  
注2: 日本は順位は全体的に高く、地域中。

出所: 三菱総合研究所作成

9

## 第3期スポーツ基本計画(概要)

## 【第2期計画期間中の総括】

- ① 新型コロナウィルス感染症  
→ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会  
→ 1年延期、延期期間中の対応

- ② 社会経済状況の変化  
→ 人口減少・高齢化の進行  
→ 労働力の不足  
→ 少子化・高齢化の進行  
→ 労働力の不足

こうした出向等を通じて、改めて確認された  
「新しい」 「喜び」 「自覚性」 に基づく新たな基本理念  
「スポーツを通じた社会貢献」 「社会貢献」  
「スポーツを通じた社会貢献」 「社会貢献」  
「スポーツを通じた社会貢献」 「社会貢献」  
「スポーツを通じた社会貢献」 「社会貢献」

## 1. 東京オリ・パラ大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に資する重点施策

- ① 持続可能な発展能力の向上  
→ 東京オリ・パラ大会の開催により、持続可能な発展能力の向上  
→ 東京オリ・パラ大会の開催により、持続可能な発展能力の向上  
→ 東京オリ・パラ大会の開催により、持続可能な発展能力の向上
- ② 社会経済状況の変化  
→ 人口減少・高齢化の進行  
→ 労働力の不足  
→ 少子化・高齢化の進行  
→ 労働力の不足
- ③ スポーツを通じた社会貢献  
→ 東京オリ・パラ大会の開催により、スポーツを通じた社会貢献  
→ 東京オリ・パラ大会の開催により、スポーツを通じた社会貢献  
→ 東京オリ・パラ大会の開催により、スポーツを通じた社会貢献

## 2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

- ① スポーツを「つくる/はくむ」  
→ スポーツを「つくる/はくむ」  
→ スポーツを「つくる/はくむ」  
→ スポーツを「つくる/はくむ」
- ② スポーツを「あつくり、ともに、つなげる」  
→ スポーツを「あつくり、ともに、つなげる」  
→ スポーツを「あつくり、ともに、つなげる」  
→ スポーツを「あつくり、ともに、つなげる」
- ③ スポーツに「誰もがアクセスできる」  
→ スポーツに「誰もがアクセスできる」  
→ スポーツに「誰もがアクセスできる」  
→ スポーツに「誰もがアクセスできる」

令和4年3月25日  
[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatestop01/list/1372413\\_0001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatestop01/list/1372413_0001.htm)

10

第3期スポーツ基本計画における  
「スポーツの価値」とは?

## 目次

はじめに(序)

## 第1部 我が国における今後のスポーツ施策の方向性

## 第1章 社会変化の中で改めて捉える「スポーツの価値」

- 第2期計画の総括的な評価(序)
- スポーツ基本計画における「スポーツ」の捉え方(序)
- 新型コロナウイルス感染症の影響と東京大会の開催を通じて再確認された「スポーツの価値」(序)

11

## 2. スポーツ基本計画における「スポーツ」の捉え方

(「世界共通の人類の文化」としての「スポーツ」)

平成23年に公布された基本法の前文冒頭において「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と記されている。第2期計画でも示したように、このスポーツには、競技スポーツに加え、散歩やダンス・健康体操、ハイキング・サイクリング、野外活動やスポーツ・レクリエーション活動も含まれており、正に「文化としての身体活動」を意味する広い概念である。

この基本法制定以降10年にわたり、こうした前文の趣旨を踏まえ、スポーツの意義や価値が広く国民に共有され、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な参画を通じて、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合う「スポーツ文化」の確立を目指して、様々なスポーツ施策が展開されてきたところである。

国としては、今後、日本の「スポーツ文化」の成熟に向けて、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定められる「スポーツ基本計画」(以下「基本計画」という。)において、必要な方針や具体的な施策等を示すことが求められている。

12

## 「スポーツそのものが有する価値」

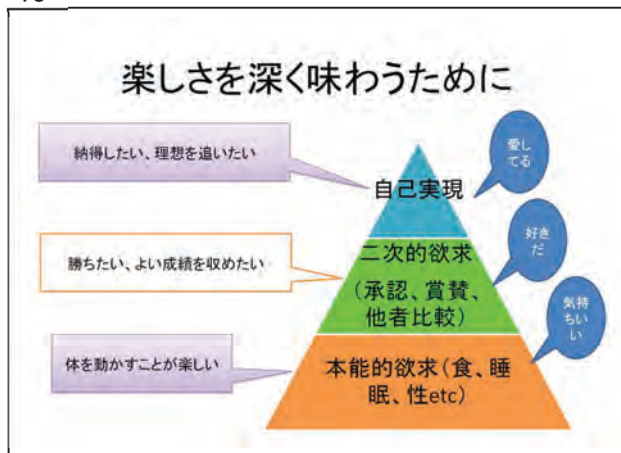
具体的には、基本法前文において「スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のもの」と示されていることも踏まえながら、第3期計画では、「スポーツ」は「する」「みる」「ささえる」という様々な形での「自発的な」参画を通して、「楽しさ」や「喜び」を感じることに本質を持つものとして捉えることとしている。

## 「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」

具体的には、基本法前文にもあるとおり、スポーツを通じて「地域社会の再生」「健康で活力に満ちた長寿社会の実現」「国民経済の発展」「国際相互理解の促進」等を進めることで、社会の活性化・課題の解決に寄与することができることである。また、地域のスポーツ活動を通じて社会的孤立の解消につなげるなどの課題解決にも寄与することができることを考える。



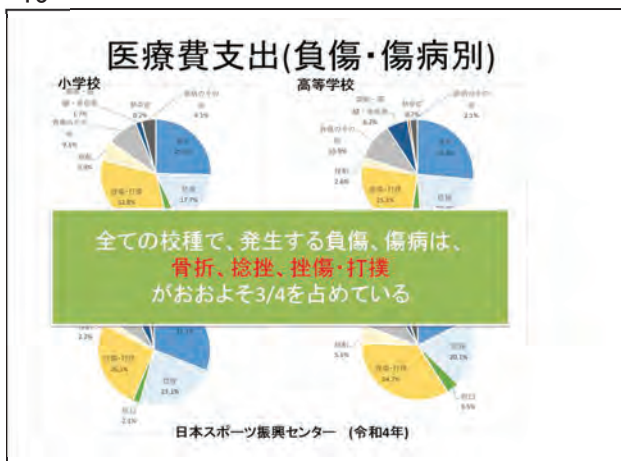
13



14



15



16

日本スポーツ振興センター 傷病見舞金支出件数(令和4年)

表-4 種別別の発生件数

| 種別      | 種別項目     | 小学校 |   |   | 中学校 |   | 高等学校等・<br>高等専門学校 |   |   | 特別支援学校 |   |   | 合計 |
|---------|----------|-----|---|---|-----|---|------------------|---|---|--------|---|---|----|
|         |          | 小   | 中 | 高 | 小   | 中 | 高                | 小 | 中 | 高      |   |   |    |
| 体育・保健体育 | 球技運動     | 1   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 1 |    |
|         | 球技運動     | 1   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 1 |    |
|         | 球技運動     | 1   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 1 |    |
|         | 球技運動     | 1   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 1 |    |
| その他     | バスケットボール | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 |    |
|         | バドミントン   | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 |    |
|         | 野球 (その他) | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 |    |
|         | 柔道       | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 |    |
|         | 剣道       | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 |    |
|         | 運動なし     | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 |    |
|         | その他運動部   | 0   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 |    |
|         | 計        | 4   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 4 |    |
|         | 合計       | 5   | 0 | 0 | 0   | 0 | 0                | 0 | 0 | 0      | 0 | 5 |    |

体育、保健体育の授業では、小学校では、器械運動、陸上競技が多く、中学校、高等学校では、球技でのケースが多くなっている。

17

表-5 種別別の発生件数 日本スポーツ振興センター 傷病見舞金支出件数(令和4年)

|                 | 小学校 | 中学校 | 高等学校等・<br>高等専門学校 | 特別支援学校 |   |   | 合計 |
|-----------------|-----|-----|------------------|--------|---|---|----|
|                 |     |     |                  | 特別支援学校 |   |   |    |
|                 |     |     |                  | 小      | 中 | 高 |    |
| 歯牙障害            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 視力・眼球運動障害       | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 手帳交付<br>（身体障害者） | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 上肢の障害           | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 足部の障害           | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 下肢の障害           | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            | 0   | 0   | 0                | 0      | 0 | 0 | 0  |
| 顔面・体            |     |     |                  |        |   |   |    |

18

障害見舞金

表-6 種別別の発生件数

日本スポーツ振興センター 傷病見舞金支出件数(令和4年)

| 種別                                                                          |      | 種別項目      | 小学校 | 中学校 | 高等学校等・<br>高等専門学校 |   |   | 特別支援学校 |   |   | 合計 |  |
|-----------------------------------------------------------------------------|------|-----------|-----|-----|------------------|---|---|--------|---|---|----|--|
|                                                                             |      |           |     |     | 小                | 中 | 高 | 小      | 中 | 高 |    |  |
| 部活動指導の傷病見舞金支出では、<br>中学校26件から、高等学校69件となっており、<br>体力及び高度化に伴い、重大事故の発生リスクが高まる傾向。 | 球技運動 | 小計部       |     |     | 1                |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部・軟式野球部 |     |     | 1                |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 吹上競技部     |     |     | 1                |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      |           |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      |           |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      |           |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      |           |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      |           |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      |           |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      |           |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             | 球技運動 | 球技部       |     |     | 1                |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 球技部       |     |     | 1                |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部       |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部       |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部       |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部       |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部       |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部       |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | 野球部       |     |     |                  |   |   |        |   |   | 1  |  |
|                                                                             |      | その他部活動    |     |     | 1                |   |   |        |   |   | 1  |  |
| 計                                                                           |      |           | 0   | 26  | 69               | 0 | 0 | 1      | 0 | 0 | 96 |  |
| 文化体育運動                                                                      |      |           |     | 1   | 1                |   |   |        |   |   | 2  |  |
| 計                                                                           |      |           | 0   | 27  | 70               | 0 | 0 | 1      | 0 | 0 | 98 |  |



19

## 体育活動における事故の傾向

(平成10年度～平成27年度)

(2) 罹病別・学年別



20

すべての運動種目で事故は起きていますが、種目ごとの発生率、リスクの高い傷病が異なることを知っておくことで予防をする必要があります。

|        | 突然死等 | 骨盤痛等 | 頭部外傷 | 溺水 | 熱中症 | その他 | 合計  |
|--------|------|------|------|----|-----|-----|-----|
| 陸上競技   | 134  | 2    | 4    | 0  | 3   | 3   | 146 |
| 水泳     | 24   | 27   | 0    | 33 | 0   | 1   | 85  |
| 柔道     | 10   | 19   | 41   | 0  | 7   | 3   | 80  |
| バスケット  | 61   | 3    | 3    | 0  | 1   | 1   | 69  |
| サッカー   | 46   | 3    | 3    | 3  | 4   | 2   | 61  |
| 野球     | 33   | 1    | 3    | 1  | 9   | 3   | 50  |
| ラグビー   | 5    | 18   | 11   | 0  | 6   | 0   | 40  |
| バレーボール | 22   | 2    | 4    | 0  | 1   | 0   | 29  |
| 器械体操等  | 5    | 23   | 2    | 0  | 0   | 1   | 31  |
| その他    | 113  | 12   | 29   | 8  | 12  | 8   | 182 |
| 合計     | 453  | 110  | 100  | 45 | 43  | 22  | 773 |

※数値の「その他」は、「スキー」「レスリング」「登山」「卓球」「ソフトテニス」等

21

## 2. スタート(飛び込み)事故

飛び込みによる負傷事故の主な例

2014年7月 茨城県公立中学校  
部活動授業中、禁止された飛び込みを強行し、男子生徒が負傷

2015年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2016年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2017年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2018年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2019年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2020年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2021年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2022年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2023年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2024年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2025年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2026年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2027年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2028年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2029年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2030年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2031年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2032年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2033年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2034年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2035年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2036年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2037年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2038年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2039年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2040年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2041年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2042年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2043年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2044年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2045年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2046年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2047年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2048年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2049年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2050年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2051年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2052年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2053年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2054年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2055年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2056年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2057年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2058年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2059年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2060年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2061年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2062年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2063年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2064年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2065年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2066年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2067年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2068年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2069年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2070年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2071年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2072年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2073年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2074年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2075年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2076年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2077年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2078年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2079年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2080年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2081年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2082年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2083年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2084年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2085年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2086年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2087年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2088年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2089年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2090年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2091年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2092年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2093年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2094年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2095年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2096年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2097年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2098年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2099年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

2100年7月 茨城県公立高校  
授業中、男子生徒がスタート時の飛び込み、壁を乗り越え、プールサイドに落下し、負傷

22

### <スタート(飛び込み)事故の現状>

- 平成17年度～27年度に、授業や部活動などの飛び込みで障害が残った事故は、少なくとも32件(年当たり3件)起きており、そのほとんどがスタート時に逆さまに深く入り、水底に頭部を打ち付けて起こっている。(日本スポーツ振興センター)

### <飛び込み事故を防ぐために>

- スポーツ庁より関係機関へ『水泳等の事故防止について』通知  
◇スタート時に逆さまに深く入り、水底に頭部を打ちつけて起こるものが少なくないので、スタートの指導については、個人の能力に応じた段階的な取扱いを重視し、教師等の指示に従い、水深や水底の安全を確かめ、入水角度に注意するなど安全に配慮した慎重な指導を行うこと。(H29は「スタート指導での留意点」を添付)

### <学習指導要領解説の記述>

- H元年・学習指導要領改訂では、従来の「逆飛び込み」の名称は、頭から垂直に飛び込むというイメージを与えることから「スタート」に改めた。  
〔平成30年学習指導要領〕  
◇小学校…水中からのスタートを指導するものとする。  
◇中学校…泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げる。  
◇高校…スタートの指導については、泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げる。なお、入学年度の次の年度以降は、安全を十分に確保した上で、学校や生徒の実態に応じて段階的な指導を行うことができること。

23

## 3. 無理な息こらえによる事故(→潜水事故)

### <無理な息こらえによる事故例>

- H8年9月6日、大阪教育大学附属高等学校池田校舎の女子生徒が、1時間目の水泳授業で潜水距離測定中に溺水し、9月12日死亡した。

### <無理な息こらえの危険性、ノーバニック症候群とは>(H13.26大阪地裁判決文)

- 無理な息こらえや過換気を伴いながら潜水中にあっては、血液中の酸素濃度が低下することによって意識が喪失し、意識喪失において生じる呼吸の反射によって自ずと気管内に水を吸引し溺水に至る危険性がある。
- 特に、潜水の息こらえの前に過換気(深い呼吸を繰り返すこと)によって血液中の二酸化炭素濃度が低下し、呼吸中枢感のないまま血液中の酸素濃度が低下して意識が喪失し、苦しみもくことのないまま溺水に至る危険性(ノーバニック症候群)も報告されている。

### <ノーバニック症候群の危険性防止に向けて>(水泳指導の手引(訂版)H16文科省)

- ①潜水が教材として必要であるかを検討する。……学習指導要領の内容にはない
- ②潜水を行う場合には、潜水の危険性を生徒に周知する。
- ③潜水の前に必要以上に深い呼吸を繰り返すことはしない。
- ④無理な息こらえをせず、少しでもおかしいと思ったら潜水中を中止する。
- ⑤潜水する者と監視する者とのマンツーマン体制を確保する。

24

## 水泳授業における事故防止に向けた留意点

2017中学校保健体育学習指導要領解説

### 内容の取扱い

(2)内容の「A体づくり運動」から「H体育理論」までに示す事項については、次のとおり取り扱うものとする。

エ 「D水泳」の(1)の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからエまでの中からア又はイのいずれかを含む二を選択して履修できるようにすること。第3学年においては、アからオまでの中から二を選択して履修できるようにすること。なお、学校や地域の実態に応じて、安全を確保するための泳ぎを加えて履修させることができること。また、泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げること。なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。また、保健分野の応急手当との関連を図ること。

「キーワード」  
安全を確保する泳ぎ  
水中からのスタート  
事故防止の心得  
応急手当

25

### 2017学習指導要領 体育(学びに向かう力)健康・安全

| 小学校                                                                                                                                |                                                                                          |                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全に気を付けたりする (低学年)                                                                                                                  | 安全に気を付けたりする (中学年)                                                                        | 安全に気を配ったりする (高学年)                                                                  |
| <b>解説例示</b><br>準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守る。また、水遊びをする前には、体(爪、耳、鼻、頭髮等)を清潔にしておくこと。 | 準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくり水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめること | プールの底・水面などに危険物がなにかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配ること。 |

・具体的な行動化につながる育成

25

26

### 2017学習指導要領 体育(学びに向かう力)健康・安全

|                                                                                                          | 中学校1.2年                    | 中学校3年                                                                         | 高校         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------|
| <b>本体</b><br>水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意する                                                           | 健康・安全を確保する                 | 健康・安全を確保する                                                                    | 健康・安全を確保する |
| <b>解説</b><br>水温や気温が低いときは水に入る時間に配慮しながら活動するなど体調の変化に気を配ること、用具の取り扱い方などの安全に留意すること、自己の体力や技能の程度に見合った運動量で練習をすること | 健康を維持したり自己や仲間の安全を保持したりすること | 主体的な学習の段階では、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うこと、けが等を未然に防ぐために必要に応じて危険の予測をしながら回避行動をとることなど、 |            |

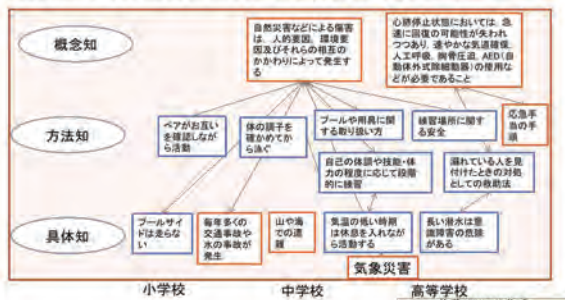
安全の留意→確保→危機回避

26

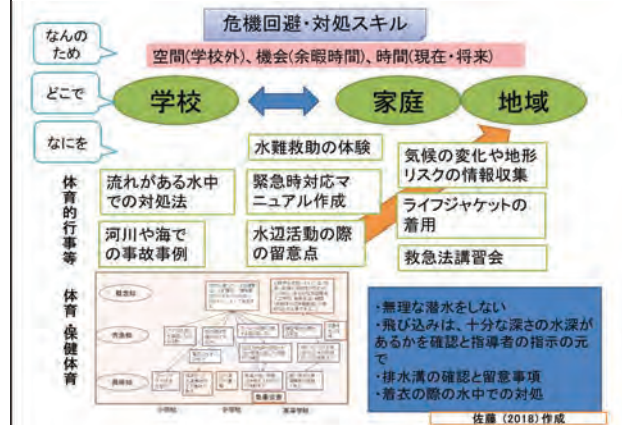
27

学校管理下(体育活動中)における水泳事故(溺水)を防ぐために

体育・保健体育では…領域の確実な学習と関連を図る指導の充実(2008-2009版の体育分野・保健分野の内容を視覚化)



28



29





31

**2 ボールを介した接触が起こりうる運動**

**3 バットやボール等を使用し、原則接触が起こりにくい運動**

※本大会では、各競技のルールに基づき、安全な実施が求められる。また、大会の進行状況や天候などにより、一部の変更が生じる可能性がある。詳細は大会要綱を参照すること。

※本大会では、各競技のルールに基づき、安全な実施が求められる。また、大会の進行状況や天候などにより、一部の変更が生じる可能性がある。詳細は大会要綱を参照すること。

32

**4 概ね用具を使用せず、個人で行う運動**

**5 用具を使用し、個人が少人数で行う運動**

※本大会では、各競技のルールに基づき、安全な実施が求められる。また、大会の進行状況や天候などにより、一部の変更が生じる可能性がある。詳細は大会要綱を参照すること。

※本大会では、各競技のルールに基づき、安全な実施が求められる。また、大会の進行状況や天候などにより、一部の変更が生じる可能性がある。詳細は大会要綱を参照すること。

33

**地域の部活動指導員の質向上に向けた研修プログラムの構築** 参考

スポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する検討会提言」(令和4年6月6日)において、今後の目指す姿として、主に中学校において部活動の運営の段階的な地域移行が示された。今後地域の指導者を育・量ともに確保するため、地域指導者の育成が大きな課題となることを踏まえ、桐蔭横浜大学では、教員やスポーツ指導者を多数輩出してきた実績に基づき、専門的見地から地域の部活動指導員の質向上に向けた研修プログラムを構築し、地域に貢献する。

《イメージ》

地方公共団体 桐蔭横浜大学 地域の指導者 学校や地域のスポーツ施設で指導を行う

※本大会では、各競技のルールに基づき、安全な実施が求められる。また、大会の進行状況や天候などにより、一部の変更が生じる可能性がある。詳細は大会要綱を参照すること。

《研修プログラムのスキーム案》

① 地方公共団体と連携してプログラムを構築  
② 修了者に認定証を発行  
③ 認定された指導員が県内の学校で活動

《希望する者には3年間の高度化プログラムを提供》

① 1年目 スタートアップ講習 → この時点で認定可能  
② 2年目 経年講習 → 知識・技能の高度化  
③ 3年目 履修証明(学教法105条)の獲得

34

**教育委員会と協働したプログラムの設計と実施**

桐蔭横浜大学「部活動地域移行」における外部指導員の質向上に向けた研修プログラム検討会議

神奈川県教育委員会 専任主幹 松野 明 様  
神奈川県スポーツ局 課長代理 元橋 洋介 様  
横浜市教育委員会 主任指導主事 山崎 俊彦 様  
川崎市教育委員会 課長 小川 誠 様  
相模原市教育委員会 指導主事 新明 順 様  
横浜国立大学 学長 森 祐子 様  
副学長・事務局長 河本 達哉 様  
スポーツ科学部教授 佐藤 聖、櫻井 智野海、湯倉 崇行、亀岡 聖樹 様  
学務部 次長 日原 広実 様

※本大会では、各競技のルールに基づき、安全な実施が求められる。また、大会の進行状況や天候などにより、一部の変更が生じる可能性がある。詳細は大会要綱を参照すること。

2023年 7月20日 第1回 検討会議 (キックオフと議点提示)  
10月10日 第2回 検討会議 (議点整理と案提案)  
2024年 1月23日 第3回 検討会議 (スタートアッププログラムの確認)  
2月6日 JSPQ、神奈川県との合同記者会見実施  
3月1日～22日 スタートアッププログラム(オンデマンド講座)実施  
3月23日 スタートアッププログラム(対面講座)実施

35

**2024.8 スタートアッププログラムの概要と受講者**

地域部活動指導員に必要とされる学校部活動指導員としての基礎知識として位置づけ  
修了要件 20 時間(オンデマンド: 12 時間、オンキャンパス: 8 時間)の履修  
※「地域部活動指導員資格」を各連携教育委員会において認定

2024.8.開講

□ オンライン学習期間 8/1～8/23(動画及び配信資料で学習し、チェックテストで理解度を確認)  
□ オンキャンパスプログラム 8/24 8/30 17:00 ※桐蔭横浜大学で開講

| 形式         | 時間数    | 大項目                    | 小項目                     | JSPQ資格との対応            |
|------------|--------|------------------------|-------------------------|-----------------------|
| オンデマンド     | 2h     | 部活動の意義と現状              | 学校教育と部活動の関係性            |                       |
|            | 2h     | 部活動指導員イライラ(運動部、文化部)    |                         |                       |
|            | 2h     | 部活動の基礎知識(アスリート・コーチ)    | 3-トレーニング理論より1-2-3-4     |                       |
|            | 2h     | 部活動で起こりうるリスク(怪我・障害)の対応 | 2-2-3                   |                       |
|            | 2h     | 部活動の学校と社会との関係          | 1-5                     |                       |
| オンキャンパス    | 2h     | 部活動指導員育成               | 各種委員会での役割等              |                       |
|            | 2h     | ケース研究実践講座              | 練習法、人間関係、安全管理、他校の特色等    | (1)トレーニング 2-3-4の基礎と応用 |
|            | 2h     | ケース研究実践講座              | 事故対応、部活動、ICT活用等(指導員と連携) | 3-運動部活動指導員(1)         |
| 全体共有、最終テスト | Webテスト |                        |                         |                       |
| 会場         | 32     | 27                     | 18                      |                       |
| (桐蔭横浜大学)   | 24     | 20                     | 15                      |                       |
| (一輪参加)     | 8      | 7                      | 3                       |                       |

36

**2024.8 JSPQスポーツコーチングリーダープログラムの概要と受講者**

スタートアッププログラムを踏まえて、指導者としての資質をブラッシュアップする講座として位置づけ  
修了要件 20 時間(オンデマンド: 12 時間、オンキャンパス: 8 時間)の履修  
※「JSPQ公認スポーツコーチングリーダー資格」をJSPQにおいて認定

2024.8.開講

□ オンライン学習期間 8/1～8/23(動画及び配信資料で学習し、チェックテストで理解度を確認)  
□ オンキャンパスプログラム 8/24 8/30 17:00 ※桐蔭横浜大学で開講

| 形式         | 時間数    | 大項目                    | 小項目                     | JSPQ資格との対応        |
|------------|--------|------------------------|-------------------------|-------------------|
| オンデマンド     | 2h     | 部活動の意義と現状              | 部活動指導員制度、責任と責任範囲        |                   |
|            | 2h     | 部活動指導員イライラ             | 2-6-トレーニング              |                   |
|            | 2h     | 部活動の基礎知識(アスリート・コーチ)    | 指導理論、実践と運動指導(中学校)       |                   |
|            | 2h     | 部活動で起こりうるリスク(怪我・障害)の対応 | 練習・指導・アスリートとの関係性        | (1)-4             |
|            | 2h     | 部活動の学校と社会との関係          | トレーニング・指導・アスリートとの関係性    | (2)-3-3-3         |
| オンキャンパス    | 2h     | 部活動指導員育成               | 各種委員会での役割等              |                   |
|            | 2h     | ケース研究実践講座              | 練習法、人間関係、安全管理、他校の特色等    | 3-トレーニングの基礎と応用(1) |
|            | 2h     | ケース研究実践講座              | 事故対応、部活動、ICT活用等(指導員と連携) | 3-運動部活動指導員(1)     |
| 全体共有、最終テスト | Webテスト |                        |                         |                   |
| 会場         | 46     | 41                     | 41                      |                   |
| (桐蔭横浜大学)   | 44     | 39                     | 39                      |                   |
| (一輪参加)     | 2      | 2                      | 2                       |                   |



37

## 2024.3 スタートアッププログラムの実施

スタートアッププログラムは、神奈川県教育委員会、神奈川県スポーツ局、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会、緑園都市教育委員会(合併のため資料のみ)にも参加いただき、自治体の建設などを相談いただきました。その後はテーマごとに4つのグループに分かれてグループワークを実施した。メディアの反響も大きく、新聞各紙等で取り上げられた。



【2024/3/21日】読売新聞  
読売新聞、日本経済新聞、サウニョース、合計70以上の媒体に掲載

Toh University of Yokohama

37

38

## 2024.8 JSPOスポーツコーチングリーダープログラムの実施

JSPOスポーツコーチングリーダープログラムでは、スタートアッププログラムを修了した41名が受講した。4つのカリキュラムから2つを選択し、ワークショップ形式で実践型の講座を受講した。



Toh University of Yokohama

38

39



## 2.4.3 茨城県部活動指導者研修会

## パネリストによる講演

## 「茨城県部活動指導者研修会」

## 内海 武利

茨城県教育庁学校教育部保健体育課  
学校体育担当指導主事

## (略歴)

茨城県内の小中高等学校関係者と連携を取りながら、県内の学校体育・スポーツ事故防止に向けた指導を担当。

## (1) 事故防止と安全管理の徹底

## ① 事故発生状況

令和6年に県に報告されている部活動中の事故(救急搬送、入院など緊急性があり比較的重大な事故)件数は以下のとおりである。(R6.11.1 現在)

図表 県内部活動の事故

|      | サッカー | 野球 | ソフトテニス | ラグビー | 駅伝 | ハンドボール | 陸上競技 | バスケットボール | バドミントン | その他 |
|------|------|----|--------|------|----|--------|------|----------|--------|-----|
| 中学校  | 3    | 3  | 2      | 2    | 2  |        |      |          |        | 2   |
| 高等学校 | 13   | 11 |        |      |    | 5      | 5    | 4        | 2      | 8   |

## ② 事故防止への安全配慮

## ○水泳事故

- ・児童の実態に合った水深で授業を行うとともに、監視体制を強化するなど、水泳の授業中における事故防止及び安全管理を徹底すること。(小学校での事故に対応)
- ・事故防止に必要な安全指導を徹底し、施設設備等の点検など事故防止のための措置に十分留意すること。(高等学校での事故に対応)

## ○陸上競技・投てき

- ・指導者が必ず立ち会い、施設・用具の安全を確認。
- ・安全確保のための指導体制を整備すること。
- ・円盤投・ハンマー投は、必ず、防護ネットが設置された環境で実施すること。
- ・防護ネットを設置できない場合は、自校での投てき物(円盤・ハンマー)を投げる練習は行わず、防護ネットが設置されている施設及び他校で練習を行うこと。
- ・防護ネットの状況については、破損や劣化がないなど、学校は安全管理を徹底すること。

## ○体育活動中・部活動中の熱中症事故の防止

- ・暑さ指数(WBGT)が31以上の場合には、原則として屋外・屋内の活動を行わないこと。
- ・実施が可能と判断し活動する場合であっても、駅伝の練習などの激しい運動は避けること。
- ・参加生徒の健康観察を実施し、あわせてこまめな水分・塩分の補給や休憩の取得等、生徒の状況を適宜確認し、健康管理を徹底すること。
- ・休日明けの運動部活動等においては、激しい運動は行わずに徐々に体を慣らしていくなど、安全を第一に考えた活動内容を設定すること。

- ・練習試合を計画していても、試合の中止や日時を変更するなど、未然に事故を防ぐため対応すること。

## (2) 茨城県の部活動の現状

- 部活動改革の4つの柱
  - ・部活動運営方針の徹底
  - ・複数顧問制の徹底及び部活動数の適正化
  - ・部活動指導員の拡充
  - ・部活動の地域移行
- 少子化による部員不足

## (3) 部活動指導員について

### ①指導員について

- 令和6年度は、中学校に 250 名、県立学校に 117 名が指導している。(R6.11.8 現在)
- 部活動指導員の活用前に、必ず学校長と面談を実施し、部活動の基本的な考え方や学校の事故防止対策などを理解させている。
- 部活動指導員は県職員として1年間の契約で指導している。

### ②グッドコーチに向けた「7つの提言」(H27.3.13 コーチング推進コンソーシアム発表より)

- 1 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。
- 2 自らの「人間力」を高めましょう。
- 3 常に学び続けましょう。
- 4 プレーヤーのことを最優先に考えましょう。
- 5 自立したプレーヤーを育てましょう。
- 6 社会に開かれたコーチングに努めましょう。
- 7 コーチの社会的信頼を高めましょう。

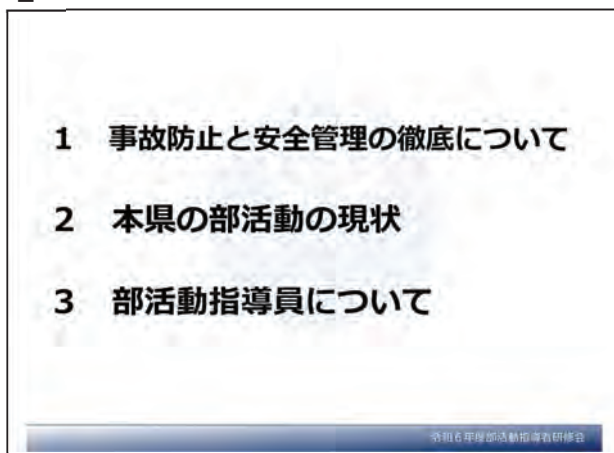


## (4) 発表資料

1



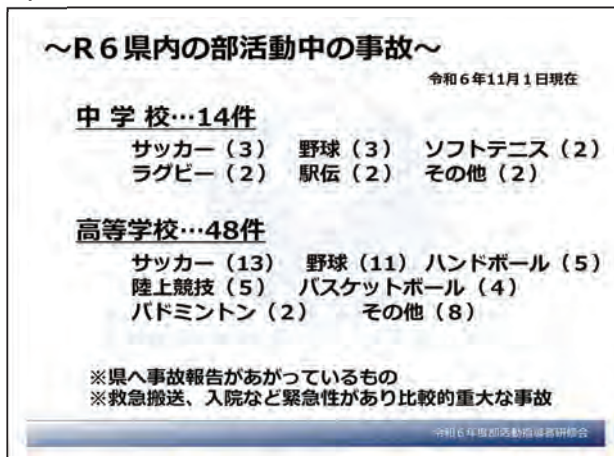
2



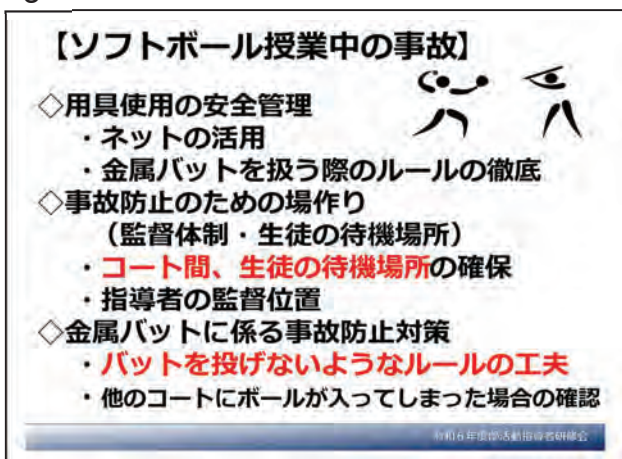
3



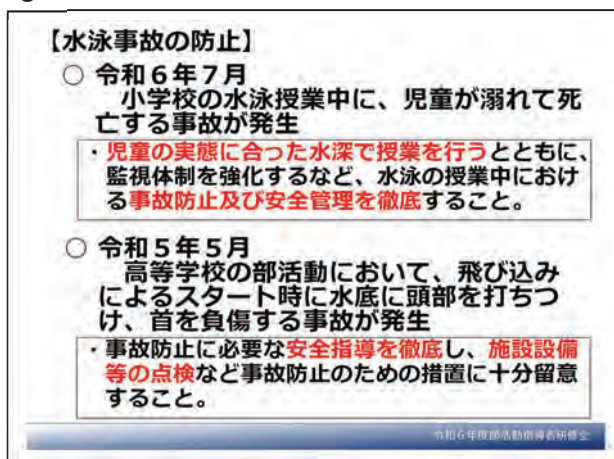
4



5



6



7

### ○ 令和6年7月 高等学校の部活動（陸上競技・投てき）に おいて事故が発生

#### ＜陸上競技（やり投・円盤投・ハンマー投）の安全配慮事項＞

- 1 指導者が必ず立ち会い、施設・用具の安全を確認。
  - 2 安全確保のための指導体制を整備すること。  
（他部の指導者と共通理解を図る。）
  - 3 円盤投・ハンマー投は、必ず、防護ネットが設置された環境で実施すること。
  - 4 防護ネットを設置できない場合は、自校での投てき物（円盤・ハンマー）を投げる練習は行わず、防護ネットが設置されている施設及び他校で練習を行うこと。
- ※ 防護ネットの状況については、破損や劣化がないなど、学校は安全管理を徹底すること。

令和6年度部活動指導者研修会

8

### 【体育活動中・部活動中の熱中症事故の防止】

◎ 今夏は、連日の猛暑により熱中症事故が相次いで発生

- ・ 暑さ指数（WBGT）が31 以上の場合には、原則として屋外・屋内の活動を行わないこと。
- ・ 実施が可能と判断し活動する場合であっても、駅伝の練習などの激しい運動は避けること。
- ・ 参加生徒の健康観察を実施し、あわせてこまめな水分・塩分の補給や休憩の取得等、生徒の状況を適宜確認し、健康管理を徹底すること。
- ・ 休日明けの運動部活動等においては、激しい運動は行わずに徐々に体を慣らしていくなど、安全を第一に考えた活動内容を設定すること。
- ・ 練習試合を計画していても、試合の中止や日時を変更するなど、未然に事故を防ぐため対応すること。

令和6年度部活動指導者研修会

9

### 2 本県の部活動の現状

令和6年度部活動指導者研修会

10

### ＜部活動改革の4つの柱＞

- 1 部活動運営方針の徹底
- 2 複数顧問制の徹底  
部活動数の適正化
- 3 部活動指導員の拡充
- 4 部活動の地域移行

令和6年度部活動指導者研修会

11

#### 部活動を取り巻く環境

### 少子化による部員不足

- 少子化に伴い年々学校規模が縮小

#### ✓ 1 運動部あたりの人数の減少

- ・ 特にチームスポーツなど部員数が足りない
- ・ 団体戦に出られない
- ・ 練習試合ができない

#### ✓ 中学校における部活動設置数の減少

- ・ 学校に希望する部活動がない

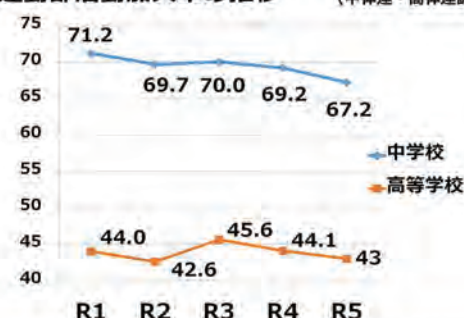
令和6年度部活動指導者研修会

12

#### 学校スポーツ・部活動の現状

### 運動部活動加入率の推移

（中体連・高体連調査より）



令和6年度部活動指導者研修会



14



16



18





19

1 事故防止と安全管理の徹底について

2 本県の部活動の現状

3 部活動指導員について

令和6年度部活動指導員研修会

20

部活動指導員配置事業について

部活動指導員  
主な職務

- 実技指導
- 大会・練習試合等の引率
- 部の管理運営
- 用具・施設管理
- 会計管理
- 保護者連絡
- 事故発生時対応

【R6.9.2事務連絡】  
沿を伴う遠征合宿等の引率については、原則、当該校の職員（但し、事務職員・技術職員を除く）が同行すること。

中学校 部活動指導員配置事業（国補助）

- 平成30年度から事業開始
- 市町村が「部活動指導員」を任用
- 国、県、市町村が1/3費用負担
- 配置校で顧問の代わりに指導

県立学校 部活動指導員派遣事業（県）

- 令和3年度から事業開始
- 県が「部活動指導員」を雇用、費用負担
- 派遣校で顧問の代わりに指導
- 高等学校、中等教育学校、県立中学校で活用

令和6年度部活動指導員研修会

21

部活動指導員配置事業について

部活動指導員活用人数の推移（令和6年11月8日現在）

|         | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 市町村立中学校 | 76人   | 101人  | 151人  | 235人  | 250人  |
| 市町村数    | 17市町村 | 21市町村 | 27市町村 | 33市町村 | 35市町村 |
| 県立学校    | 9人    | 50人   | 80人   | 107人  | 117人  |

部活動指導員の必要性

中... 81.8%

高... 62.3%

令和5年度部活動運営方針フォローアップ調査  
顧問アンケートより

■学校では部活動指導員を必要としている。  
■令和6年度以降の活用については、学校は、技術指導だけでなく、事務的な作業や引率、保護者への連絡といった通常業務ができる部活動指導員を強く希望している。

令和6年度部活動指導員研修会

22

指導者（教員・部活動指導員）が気を付けたいこと！

■部活動は私物化できない・しない

- ・部活動指導員は県職員として1年間の契約のうえで指導（何か問題があれば解職もある）
- ・生徒勧誘への個別折衝はあってはならない
- ・学校は、部活動指導員に指導を任せきりにしない  
管理職や、顧問が分からないといったことが無いようにする

令和6年度部活動指導員研修会

23

グッドコーチに向けた「7つの提言」

- 1 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。
- 2 自らの「人間力」を高めましょう。
- 3 常に学び続けましょう。
- 4 プレーヤーのことを最優先に考えましょう。
- 5 自立したプレーヤーを育てましょう。
- 6 社会に開かれたコーチングに努めましょう。
- 7 コーチの社会的信頼を高めましょう。

令和6年度部活動指導員研修会